

もう一度 原点から

masurao vol.8

Q&A

2年前に市議会議員を辞めて以来、久しぶりに活動報告をつくります。ここでは最近私が頻繁に聞かれる質問について答えます。

Q1: 2年間何をしていたの？

衆議院の選挙に落選した後すぐに会社を作り、

- ①インターネット番組の作成と配信、
- ②全国を周っての講演、
- ③本の執筆、
- ④DVDや「古事記」紙芝居の製作と販売、
- ⑤20代の若者を対象にした自立支援塾の運営、
- ⑥アジア各国から留学生を受け入れるシステム作り、
- ⑦地域活性化のためのアドバイザーといった仕事をして、「龍馬プロジェクト全国会」という政治団体の中で政治活動をしてきました。

(詳しい内容などは裏面に)

Q2: なぜ政治活動をするの？

私は21歳の時に世界各国をまわり、海外の若者と交流して、彼らのバイタリティや家族と国を思う気持ちを知って、「自分を含めた日本の若者の意識はこのままではいけない」と危機感をもち、その危機感を周囲に伝えるために政治家になりました。ですから私が政治活動を通じてやっていきたいことは、日本の若者の意識改革です。

「まず自立し自分のことをしっかりやる。そして日本という国に生まれたことに感謝と誇りをもって、社会や国や家族の役に立つように働く。さらには日本が平和で豊かで長寿な国のモデルをつくり世界に貢献する。」こんな意識をもって、「人や社会の役に立つことが自分の幸せ」と感じられる若者を増やしていくことが私の政治活動の目的です。



経歴

1977年福井県生まれ。関西大学文学部・法科大学院卒業。予備自衛官三等陸曹。29歳で吹田市議会議員に当選(2期・副議長・2012年衆議院選挙のために辞職)。2010年「龍馬プロジェクト全国会」を発足し、現在250名の会員を束ねる。インターネットチャンネル「CGS」を開設し毎日番組を配信。大阪府吹田市を拠点に活動中。



Q3: どんな政治家になりたいの？

私は江戸時代のサムライの精神をもった政治家を目指しています。具体的には上杉鷹山のような政治家をイメージしてください。



①率先垂範で自分を律し、ずるいことや不正をせず、部下（現代なら公務員）を引っ張っていける。

②住民の暮らしを第一位に考え、なるべく税金は下げ、産業を興し住民の暮らしを豊かにする。

③地域や国のビジョンを示し、損得や選挙のためにではなく、そのビジョンの実現のために仲間を集めて活動する。さらに、①～③の結果として、子供たちから「自分も政治家をやってみたい」と思ってもらえる政治家になりたいと思います。

きました。

私の強みはこの行動力とネットワークです。「できないことはできる人に任せよう」というポリシーで、課題があればそれが解決できる優秀な人材を見つけてきて（口説いてきて）、利権やしがらみを解きほぐしながら、その人材が十分に能力を発揮できる環境を作ることに尽力したいと思います。



Q4: 神谷にどんなことができるの？

8年間全国を周って政治活動をし、政治家や官僚、有識者の皆さんと幅広いネットワークを作ることがで

Q5 どんな地域、どんな国を作りたいの？

一人一人が自立し、自分の頭で考え方行動する人が住む地域や国を作りたいです。そしてアメリカや中国といった大国の思惑にのせられず、公正さをもって「我々はこう考え方行動する」と模範を示せるような国、それを構成する地域であって欲しいと考えています。



2年間の活動報告ー1 龍馬プロジェクトと全国ネットワークの構築

●龍馬プロジェクト

龍馬プロジェクトとは、日本の現状に問題や危機感を感じた20~40代の政治家や経営者が、日本のタテト（歴史文化・先人の思い）やヨコト（国際情勢・世界のしくみ）を学びながら、日本のるべき姿と世界の中での役割を考え、ビジョンの実現に取り組む全国組織の政治団体です。

2010年に神谷を中心に立ち上げ、現在約250名のメンバーがいます。

*龍馬プロジェクトのビジョンや詳しい活動はホームページで!

<http://ryouma-project.com>

●連携し情報交換している全国の首長の皆さん

「龍馬プロジェクト」やG1サミットなどを通し、全国の同世代の首長や改革派の首長の皆さんと頻繁に研修などをさせていただき、「地方自治」や国と連携した「地方創生」について意見交換をしてきました。



2年間の活動報告ー2 執筆活動——書籍や雑誌による「想い・活動」の発信

平成26年12月発売!

『大和魂に火をつけよう』

青林堂(税込)1080円

【国づくりは人づくりから】

29歳から8年かけて市議会議員・吹田市長選挙・衆議院選挙などを経験し、5年間「龍馬プロジェクト全国会」を運営してきた神谷が、「地方から日本を変える」ために一人一人ができる事を若者向けに提案した1冊です。



『100人の龍馬』
PHP研究所



『日本のスイッチを入れる』
カナリア書房

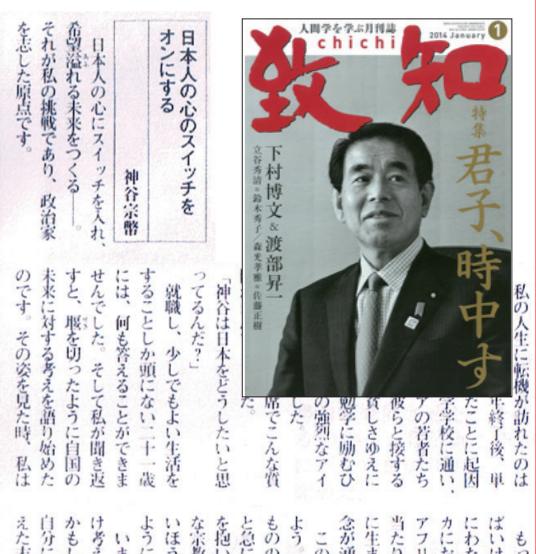


『政(まつりごと)の哲学』
青林堂

テレビや新聞、雑誌、インターネットで神谷の活動が紹介されています。

詳細は [\[メディア掲載 神谷ソウヘイ\]検索](#)

今年は雑誌「致知」でも活動を取り上げていただきました!!



2年間の活動報告ー3 「CGS」と「古事記」——学校やテレビでは教わらない情報の発信

CGSの紹介

「CGS」はインターネットの無料動画配信チャンネルです。

「CGS」とは「チャンネルグランドストラテジー」の略で、グランドストラテジーとは「大戦略」のこと。将来の日本の「大戦略」を皆さんと一緒に考えるために、学校やテレビでは教わらない「日本の歴史」「国際情勢」「予防医学」「国語」「神話」「政治」の情報を毎日10分程度の番組で配信しています。

<http://gstrategy.jp>

[CGS](#) 検索

YouTubeでおなじみのKAZUYAさん



三重県知事 鈴木英敬さん



「古事記」の普及

戦後の日本の教育では、子供たちが神話や古事記の話を学ぶ機会がなく、今の子供は「ヤマタノオロチ」や「イナバの白うさぎ」といっても「何それ?」といった感じになっています。

子供たちが日本の神話に親しみ、国の歴史やタテトを学ぶきっかけにして欲しいとの思いから、「古事記」の紙芝居をつくり、全国の神社に寄付しました。今後は、「古事記」紙芝居を子供達への教育事業に活用して下さる神社や団体などと連携し、「古事記」の普及に努めています。

[古事記 紙芝居](#) 検索



吹田市内で神谷の貸し出します。

政治の裏側が
どうなっているのか
教えて欲しい

子供たちに
日本の将来と
キャリアデザインに
ついて語って欲しい

こんな要望のある方は、ご自宅でもカフェでもいいので、
神谷を呼んでください!
ご予約いただければ、「神谷の貸し出し」行います。
また、千里山の事務所にお越しいただくのも大歓迎。

吹田の〇〇が
どうなっているか
教えて欲しい

FAX: 06 - 6385 - 1239

mail: info@kamiyasohsei.jp

続きはWEBやフェイスブックで!! <http://kamiyasohsei.jp>

[かみやそうへい](#) 検索

神谷のこれまでの活動はWEBでご覧ください。「ホームページ」では今の活動が一目で分かるように書いてありますし、「アメーバブログ」では2010年からの活動を遡ってご覧いただけます。また、「フェイスブック」もやっていますので、ページの「いいね!」を押していただければ、皆さんのフィードに毎日情報がアップされます。さらに、ホームページから「メールマガジン」(無料)の登録もしてもらえば、定期的にホームページの更新情報やイベント案内を送らせて頂きます。